

特集《議会の仕組み》

— 議員はこんな仕事をしています —

ぎかいて
なんだろう？



柏崎市議会だより

ギカイの

とびら



No.194 令和5(2023)年12月5日

今回の表紙

議場を見学する
田尻小学校3年生のみなさん

議会の役割なども学習しました。
(場所 議場)

もくじ

■ 特集《議会の仕組み》	P2・3
■ 令和4(2022)年度決算を 認定しました、賛否一覧	P4~9
■ 委員会審査報告	P10・11
■ 先進地を視察しました	P12
■ 一般質問	P13~16
■ 政務活動を行いました	P17
■ ギカイのうごき	P18・19
■ 12月定例会議日程 ほか	P20

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/shigikai/>



特集

議員はこんな仕事をしています

暮らしやすいまちづくりを目指す

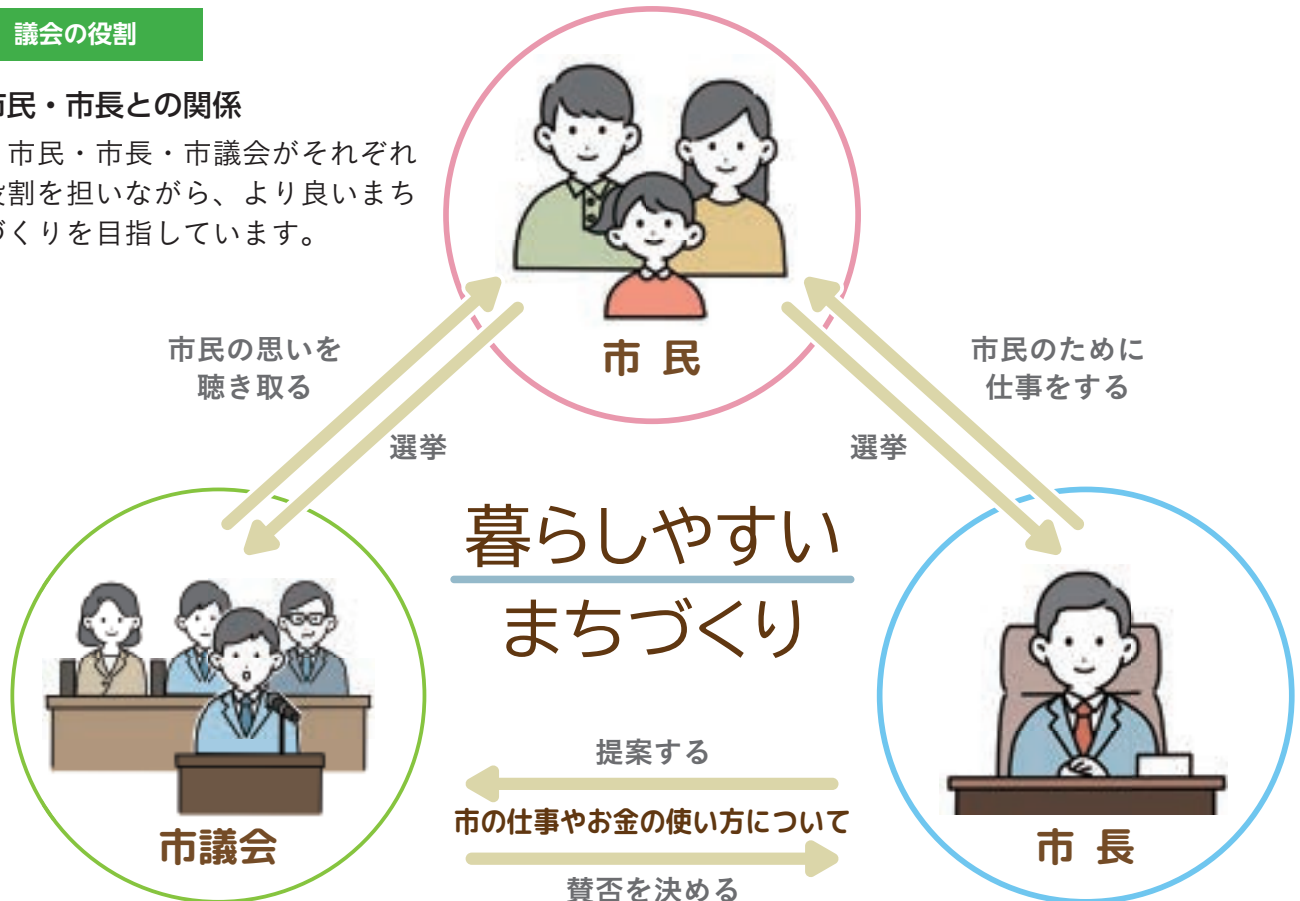
《議会の仕組み》

議会の役割と活動

議会の役割

●市民・市長との関係

市民・市長・市議会がそれぞれ役割を担いながら、より良いまちづくりを目指しています。



●議会の仕事

市民を代表して、予算や条例などルール決定や、市の仕事をチェックすることなどが議会の主な仕事です。請願・陳情や意見交換会などで聴き取った市民の声を市政に届けます。議会の活動を知ってもらうために、ギカイのとびらやホームページなどで情報発信しています。



本会議では、起立採決（左の写真）または電子表決システム（右の写真）で賛成・反対の意思を示します。

議会の活動

● 本会議とさまざまな委員会

議案の賛否など重要なことは議員全員が参加する本会議で決めます。詳細な審査や調査は、委員会に付託（ふたく）して分担します。他にもさまざまな会議を開催し、議会を運営しています。

「柏崎市議会概要」を発行しています



- **議会運営委員会**
議会の運営に関すること
- **議会広報広聴常任委員会**
ギカイのとびら発行など
- **特別委員会**
必要に応じて設置
現在、柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会を設置しています。
- **議会全員協議会**
議員全員で協議すべきこと

● 年間のスケジュール

柏崎市議会は通年会期制を採用しています。毎年5月1日から翌年4月30日までの1年間の会期中に、4回の定例会議のほか、年間を通して各種会議の開催や視察などの活動を行っています。



議会の予定(今月・来月)



5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
(随時会議)	6月定例会議	(随時会議)	(随時会議)	9月定例会議	(随時会議)	(随時会議)	12月定例会議	(随時会議)	(随時会議)	2月定例会議	(随時会議)
定例会議以外の主な活動 ・随時会議（本会議） ・常任委員会 ・議員研修会 ・議会運営委員会 ・常任委員協議会 ・議会報告会や意見交換会（年1回以上） ・議会全員協議会 ・特別委員会 ・会派代表者会議 ・行政視察 ・会派の政務活動 など											



さまざまな議員研修を行っています。



常任委員会で審査した結果は、本会議で報告します。

令和4(2022)年度 決算を認定しました



10月6日の本会議で、一般会計と特別会計の決算を認定しました。公営企業会計の決算は、9月21日の本会議において全会一致で認定しました。

一般会計決算に対する討論は5ページ、予算決算常任委員会（重野正毅委員長、持田繁義副委員長）での審査は6・7ページをご覧ください。

決算審査に合わせて行った施策・事務事業評価の結果を8・9ページに掲載しています。

議案・審議結果



令和4(2022)年度一般会計・特別会計歳入歳出決算額と賛否

区分	歳入(円)	歳出(円)	賛否など※	
一般会計	51,946,299,125	48,753,405,814	賛成19 反対2	
特別会計	国民健康保険事業	8,857,487,082	8,742,714,056	賛成19 反対2
	(事業勘定)	8,531,004,749	8,416,233,749	
	(直営診療施設勘定)	326,482,333	326,480,307	
	後期高齢者医療	1,040,739,866	1,039,505,066	賛成21 反対0
	介護保険	9,412,665,679	8,996,929,613	賛成21 反対0
	土地取得事業	77,221,201	77,221,201	賛成21 反対0
	墓園事業	8,618,704	8,151,730	賛成21 反対0

※柄沢均議長は採決に加わりません。議員の賛否状況は7ページをご覧ください。



私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

日本共産党柏崎市議員団

反対

五つの角度から問題点を指摘する。一つ目は基金が増加傾向にあり、財政調整基金が70億円を超え、実質収支額が大幅な黒字であることから市民要望に応える余裕がある。二つ目は、財源があったにもかかわらず、重点戦略に位置付けた子育て支援が弱かったこと。三つ目は人口減少をくい止めることができず、特に若い女性の流出が激しい。四つ目は、組織機構において重要な部署で兼務が目立つ。市民生活部長の高柳・西山事務所長兼務は解消すること。五つ目は、小・中学校のトイレの洋式化が遅れ、全国平均との格差が拡大していること。



持田繁義

柏崎の風

賛成

財政分析においては各数値が好転しており、人口減少や社会情勢の影響を受けながらも、国の特別交付金などを活用しながら、適切な財政運営を行ったものと捉えた。特に市税の収納率が改善し、不能欠損額、収入未済額が大幅に減少したことは、大きな成果である。国の特別交付金は流動的なものであり、財政状況や各事業に及ぼした影響を分析、検証した上で、引き続き財政健全化と市民福祉の向上を図るべきである。

限られた財源を有効かつ効率的に活用するとともに、適切に予算が執行されたものと評価して、決算の認定について賛成する。



三嶋崇史

公明党

賛成

令和4年度は「第五次総合計画後期基本計画」のスタートの年であり、重点戦略の「子どもを取り巻く環境の充実」「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」に関する事業が執行され、その取り組みを評価する。また新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰対策はスピード感を持って事業が実施された。感染症・物価高騰・豪雪などの危機に対し、全庁挙げて取り組み、予算執行されたことを評価する。社会経済情勢や財政状況を的確に認識し、内部統制を整備し、行政経営・行政サービスのさらなる質の向上を図っていただきたい。



西川弘美

【 予算決算常任委員会での 令和4(2022)年度決算審査について報告します 】

9月20日の全体会で総括質疑を行った後、延べ7日間にわたって各分科会で詳細に審査しました。10月5日の全体会で分科会長報告を基に採決し、全ての会計について「認定すべきもの」との結果になりました。

総務分科会

■分科会長 佐藤正典 ■副分科会長 近藤由香里
■委員 布施 学・山本博文・持田繁義・佐藤和典・星野正仁

主な意見

- 市の各種基金残高は、将来を見据えれば妥当なものである。歳入面での市税収納率向上の取り組みも評価できる。
- 市政の企画・財政・市民生活・地域振興・防災・消防に関連する各事業について、それぞれの取り組み状況、成果や課題を確認し、正確性と妥当性があると判断する。
- 遊休市有地を活用した再生可能エネルギー発電設備設置工事の実績と経験を生かして、地元企業への仕事創出と脱炭素の推進を図ることを期待する。
- 基金・繰越金などの増加や、いくつかの事業の成果に課題があるとの少数意見もあったが、分科会としては「おおむね妥当な決算である」との意見で一致した。

文教厚生分科会

■分科会長 春川敏浩 ■副分科会長 五位野和夫
■委員 星野幸彦・三嶋崇史・西川弘美・重野正毅・上森 茜

感染症防止対策に関する主な意見

- これまでの感染症拡大防止に対する取り組みを検証して、今後のあらゆる危機管理に生かしてほしい。
- ワクチン接種における国の医療体制の抜本的改善について、財政措置も含めて国・県に求める必要がある。

人材確保・育成に関する主な意見

- 医療・介護・福祉の各分野で人材確保に苦慮していたことから、より一層、専門職の確保に努めてほしい。
- 子育て・教育に関わる人材確保は、過不足なく対応したとのことなので、引き続き必要な人材確保に取り組んでほしい。

産業建設分科会

■分科会長 阿部 基 ■副分科会長 田邊優香
■委員 山崎智仁・池野里美・三宮直人・相澤宗一・真貝維義

主な意見

- 都市整備部関係では、市民の安全・安心な生活環境を維持するため、優先順位を決めて道路・河川などの修繕・改修を計画的に実施したことは評価できるが、除雪の人材確保には課題がある。空き家対策は改善が見られ一定の評価ができるが、特定空家の解消には課題がある。
- 産業振興部関係では、中小企業や農林水産業の支援のために、さまざまな事業で効果の深掘り、ニーズの検証がさらに必要である。また、道の駅「風の丘米山」はコンセプトを明確にする必要がある。
- さまざまな課題は認識しつつ、分科会として「おおむね妥当な決算である」との意見で一致した。



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査した議案

■ 決算審査のための現地視察を行いました



柏崎市土地開発公社から買い戻した旧鯨波公園用地。
新産業団地の造成が計画されている。(総務分科会)




太陽光発電設備が設置された半田コミュニティセンター
(総務分科会)

私たちは



賛成 × **反対** しました

議決された議案などは
コチラ 



議員賛否一覧（9月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

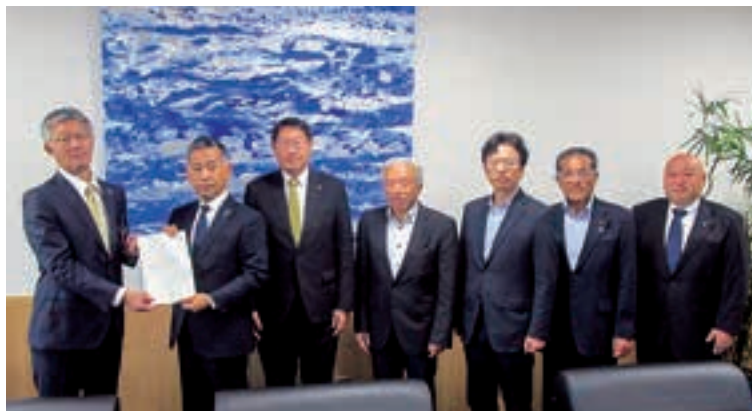
議決日	議案	布施学	山崎智仁	星野幸彦	佐藤正典	池野里美	三嶋崇史	近藤由香里	田邊優香	山本博文	西川弘美	持田繁義	五位野和夫	重野正毅	三宮直人	相澤宗一	佐藤和典	柄沢均	上森茜	春川敏浩	阿部基	星野正仁	真貝維義
10月6日	決算の認定について（令和4（2022）年度一般会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
10月6日	決算の認定について（令和4（2022）年度国民健康保険事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 柄沢 均議長は採決に加わりません。

施策・事務事業評価に取り組みました

令和4(2022)年度一般会計決算

第五次総合計画の分野別施策から主要施策を選択し、予算決算常任委員会での決算審査で評価を行いました。評価結果を市長に提出し、政策実現に向けた翌年度以降の施策・事業の見直しなどを提案しました。



評価結果
(PDF)



◀ 左から櫻井市長、柄沢議長、重野副議長（委員長）、持田副委員長、佐藤総務分科会長、春川文教厚生分科会長、阿部産業建設分科会長（10月19日 市長応接室）

評価区分	A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する
	B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要
	C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要
	D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務

【総務分科会】

評価対象施策と
事務事業

地域力が発揮できる環境を充実させる

- 地域おこし協力隊活用事業
- 地域おこし協力隊活動経費
- 地域おこし協力隊定住定着支援事業

評価

B

提案内容

- 隊員の希望と地域が求める活動のマッチング
- 隊員が活動しやすく充実感を持てる受け入れ・支援体制の整備
- 隊員の将来的な自活を見据えて活動できる環境整備
- 「地域おこし協力隊定住定着支援事業」の周知や利用促進
- 他の移住・定住支援策や市民活動支援策とのさらなる連携

以上を踏まえ、地域おこし協力隊員の希望に沿いながら、真に地域に役立つ事業内容となるよう、研究していただくことを提言する。

【文教厚生分科会】

評価対象施策と
事務事業

安心して子育てができる環境を充実させる

- 放課後児童健全育成事業
- 子どもの遊び場施設整備補助金
- 子育て応援事業

評価

A

提案内容

- 放課後児童健全育成事業
近年、多様な教育的ニーズのある児童が増加し、きめ細かい対応が必要となっているため、加配など支援員の人員配置への対応を求める。
- 子育て応援事業
プッシュ型の情報発信に努め、さらに魅力ある講座の展開を求める。利用者の満足度を把握するためのアウトカム評価の導入を検討すること。

以上のことについて、今後の施策の展開において配慮いただき、子どもを取り巻く環境の充実がさらに進むよう期待する。

【産業建設分科会】

評価対象施策と
事務事業

産業の創造性と技術力を高める

- 工業振興事業
- 情報産業育成振興事業
- 事業構造強化促進事業

評価

B

提案内容

- 事業構造強化促進事業は、産業構造の大変革期にある中で、将来を見据えた事業構造改革への促進であり、脱炭素社会への取り組みとつながるため大変重要である。事業の実施は評価できるが、市内製造業者の新分野展開や事業転換、経営基盤の確立への取り組み、人材確保への継続的な支援が今後も必要である。支援補助金が大手企業にどのような効果があったのか、また、市内中小企業の強化にどれだけ寄与しているのか、事業の周知や運営における問題点などについて具体的な検証、分析が必要である。
- 今後も継続的な支援が必要であり、事業に対するスピード感および先見性が求められる。新たな分野への挑戦を支援し、イノベーションを促進するための努力が必要である。

令和5(2023)年9月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 佐藤正典 ■副委員長 近藤由香里
■委員 布施 学・山本博文・持田繁義・佐藤和典・星野正仁

1件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

・火災予防条例の一部を改正する条例

概要 省令改正に伴う蓄電池設備に係る基準と固体燃料を用いた火気設備の離隔（りかく）距離の見直しに関する改正。

文教厚生常任委員会

■委員長 春川敏浩 ■副委員長 五位野和夫
■委員 星野幸彦・三嶋崇史・西川弘美・重野正毅・上森 茜

付託議案などはありませんでした。

産業建設常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 田邊優香
■委員 山崎智仁・池野里美・三宮直人・相澤宗一・真貝維義

付託議案などはありませんでした。

■議案審査以外の活動事例（内容）

常任委員会
の活動



総 務

8月24日（木） 意見交換会（かしわざき男女共同参画推進市民会議）

9月19日（火） 常任委員協議会（財務部・総合企画部からの報告）

10月30日（月） 常任委員会（所管事務の調査）

文教厚生

8月10日（木） 常任委員協議会（子ども未来部からの報告）

9月15日（金） 常任委員協議会（教育委員会からの報告）

10月20日（金） 常任委員協議会（調査研究テーマに関する質疑）

産業建設

6月27日（火） 常任委員会（所管事務の調査）

8月21日（月） 勉強会（空家等対策の推進に関する特別措置法改正）

9月13日（水） 常任委員協議会（上下水道局からの報告）

9月14日（木） 常任委員協議会（都市整備部・産業振興部からの報告）

10月24日（火） 常任委員協議会（産業振興部からの報告）



委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査結果

予算決算常任委員会

■委員長 重野 正毅 ■副委員長 持田 繁義
※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和5(2023)年度一般会計補正予算(第10号)など、11件の議案に
ついて審査しました。

※令和4(2022)年度決算案を除く。

総務分科会

令和5(2023)年度一般会計補正予算(第10号)

・市民税業務経費(123万6000円)

概要

国が進める地方税共通納税システムの対象税目
拡大に伴い、システム改修を行う経費。

主な質疑

Q 拡大対象の税目は。

A 市・県民税の普通徴収分と国民健康保険税

が追加される。これらの電子納付を可能と
したい。

Q 地方税共通納税システムの概要と委託先は。

A 地方税共同機構が構築・運用し、地方税法
に基づき全国の自治体が使用している。シ
ステム改修は包括アウトソーシングの一環
としてカシックスに依頼する。

文教厚生分科会

令和5(2023)年度一般会計補正予算(第10号)

・軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業 (515万円)

概要

当初の見込み件数を上回る申請に対する助成に
必要な経費。

主な質疑

Q 当初予算額(230万6000円)の倍以上
の増額が必要となった理由は。

A 当初69件を見込んだが、8月末で47件の
申請があった。医師が必要と認めた場合、
両耳の助成が可能となり申請が増えた。

Q 今回増額することで、年度内の申請全てに
対応できるか。

A 他市の例も参考にして、新たに135件分
を見込んだ。想定以上の申請件数の増加は
ないと考える。

産業建設分科会

令和4年(2022)年度水道事業会計未処分利益剰余金の 処分について

概要

地方公営企業法の規定に基づき、未処分利益剰
余金の一部を積み立て、残余を繰り越す。

主な質疑

Q 有収水量、有収率が年々減少傾向にある原
因は。

A 有収水量減少の原因は、節水意識の定着や
節水機器の普及などである。

Q 健全財政運営に向けての分析は。

A 健全財政運営に向け、新たな財源確保や継
続的な経費削減、施設の統廃合なども視野
に入れ、上水道の安定供給に努める。

先進地を 視察しました



予算決算常任委員会(運営会議)

8月22日(火)～23日(水)



学んできたこと

- 事務事業評価
- 予算決算審査

常任委員会の
活動



ここに注目!

東京都国分寺市

平成17年度から655事務事業、平成24年度から全36施策の評価を毎年度実施。評価に際しては市民3000人へのアンケートも毎年度実施し、施策評価に反映している。

東京都青梅市

行政評価シートはフルコストで、市民1人当たりのコストも記してある。令和3年度からは補助金事業を選定して行政評価を行っている。既得権化を避けるため3年間の終期を設定した「サンセット方式」を採用している。

東京都府中市

平成12年度から360事務事業、平成20年度から全77施策の評価をフルコストで毎年度実施。評価結果を踏まえた中で事業の拡充・縮小・廃止を検討し、政策経営会議で判断して予算編成に盛り込まれる。

産業建設常任委員会

8月28日(月)～30日(水)



学んできたこと

- 産業団地整備と企業誘致優遇政策
- 道の駅のコンセプトと地域振興
- 危険空き家の解体費用補助制度

常任委員会の
活動



ここに注目!

福井県敦賀市

企業誘致を進めるために港を物流のハブ拠点とし、陸送を減らすことで脱炭素化の付加価値をPRする考え方には学ぶ点が多い。

福井県越前市

道の駅の指定管理者は地元鮮魚店である。県整備分の施設があり、県との連携を図りつつ観光拠点とする位置づけは参考となった。

福井県あわら市

道の駅と観光地などのエリアを有機的に結び、広報の連携など、官民協働を図っていたことは参考となった。


石川県七尾市

危険空き家の解消には、国の補助制度活用や、所有者訪問などで解体への理解を得る手法も有効であると学んだ。



一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目 



介護・福祉



Q 介護・福祉分野での高校生のキャリア形成支援

A 高校生を対象に、若手介護職員による介護・福祉技術講座の実施を新たに検討

質問 愛知県の民間団体が高校生の介護職員初任者研修受講とキャリア形成を支援する「介拓奨学生プログラム」を実施している。本市でも同様の取り組みを行う考えは。

回答 市内には介護職員初任者研修を行う県の指定事業者がなく同様の取り組みは難しいが、若手介護職員による高校生対象の介護・福祉技術講座の実施を新たに検討する。

他の質問 持続可能な「脱炭素のまち柏崎」を目指して ほか



動画でチェック

県高校再編計画



Q 県立高校等再編整備計画に対する市民の納得感は

A 県にはしっかりと地域に入り、合意形成に取り組んでほしい

質問 柏崎翔洋中等教育学校の募集停止と県立中学設立を含む再編を円滑に進めるには、市民との合意形成、納得感が必要不可欠である。市が生徒・保護者・地域住民の意見や要望をまとめ、県に伝える考えはあるか。

回答 県の管轄のため市が関与していく考えはない。県にはしっかりと地域に入って合意形成に取り組んでほしい。

他の質問 安心して働ける高齢者の雇用に向けて



動画でチェック

避難道路整備



Q 国に要望した避難道路整備、今後の展開は

A 原子力防災の観点から、8号バイパスを最優先に5つの要望を全てお願いする

質問 大臣に要望した8号バイパス早期全線供用、米山IC移設、曾地・上方スマートIC新設、小村峠トンネル化について、実現性や優先順位など、見解を求める。

回答 昨年12月の大雪で冬季避難路確保の課題が浮き彫りとなった。8号バイパスを最優先に、実効性ある避難、原子力防災の観点から要望した5つ全てをお願いしていく。

他の質問 ユネスコ無形文化遺産登録された綾子舞 ほか



動画でチェック

学校教育



重野正毅

Q 柏崎におけるインクルーシブ教育の必要性

A インクルーシブ教育の考え方は学校教育でも必要不可欠

質問 柏崎ならではのインクルーシブ教育を推進すべきと考えるが、その必要性は。

回答 インクルーシブ教育とは、多様性を尊重し障害のあるなしに関係なく全ての子どもが共に学び合う教育と捉える。同じ社会に生きる人として、尊重し合い支え合う共生社会の実現のために、学校教育上必要不可欠である。

他の質問 柏崎市の学校教育における生成AIの活用ほか



動画でチェック

市立図書館



山本博文

Q ソフィアセンターの利便性向上と利用拡大に向けて

A 読書機会の提供や快適な利用環境の維持に努めて、読書離れに対応

質問 利用者が20年間で約3分の1に減少したソフィアセンターの現状を踏まえた課題と、利用拡大に向けた今後の方向性は。

回答 スマートフォンなどの普及による読書離れ、施設や設備の老朽化が課題である。外部機関と連携した新たなサービスを提供し、図書館利用者の拡大を図るとともに安心して快適に利用できる環境の維持に努める。

他の質問 市内スポーツ施設のトイレにおける取り組み



動画でチェック

海の大花火大会



五位野利実

Q 海の大花火大会の有料観覧席料金の再考を求める

A 割引などは難しいと考えるが観覧席料金については真剣に検討したい

質問 多くの市民が花火を楽しむために有料観覧席を整備することは重要と考える。市民が気軽に花火を楽しむには、有料観覧席料金の割引など再考が必要ではないか。

回答 花火大会を安定的に継続して開催するため収支バランスは重要である。割引などは難しいと考えるが大事な提案と捉え、できるかできないかを含め真剣に検討したい。

他の質問 地球沸騰化の時代といわれる気候危機への対応ほか



動画でチェック

駅前再開発



阿部 基

Q 柏崎市の活性化に向け、駅前再開発をどうするか

A 柏崎の玄関口にふさわしい顔づくりを行い、魅力あるまちなか形成を目指す

質問 公共交通の利用者は年々減少しているが、柏崎駅前には観光や公共交通の拠点である。莫大な経費がかかるものの、市を活性化するため、駅前の再開発をどう考えるか。

回答 駅前周辺の関係事業者との情報交換などを実施しながら、人口動向や公共交通の状況も見極め、駅前空間の活性化に向けた検討を進める。

他の質問 観光客数増加を目指した各業種との連携



動画でチェック

介護サービス



西川弘美

Q 特別養護老人ホーム入所待機の現状と市の取り組みは

A 待機は年々解消傾向。要介護者や家族の状況を考慮した対応策を講じている

質問 第9期介護保険事業計画策定に当たり持続可能な介護サービスの検討が必要。特養入所申し込みの現状や、希望者・家族の状況に応じた市の取り組みについて伺う。

回答 7月末現在の申込者は668人。介護度や医療処置の程度によるが1～2年で入所できるのではないかと。緊急性の高い人にはサービス事業者と密に連携し対応している。

他の質問 带状疱疹予防とワクチンの接種費用助成制度創設



動画でチェック

原子力防災訓練



星野幸彦

Q 原子力災害時の避難に保護者から不安の声が聞かれる

A 引き渡し訓練、原子力防災講座、家族避難計画の活用などで不安解消に努める

質問 各小・中学校での引き渡し訓練、保護者への手順説明、実地確認などで、保護者の不安を解消できないか。

回答 多くの方が引き渡し訓練を経験できるように努め、今年度からは教職員対象の原子力防災講座に取り組んでいる。保護者への説明会なども検討したい。HPには家族避難計画のモデルケースを掲載している。

他の質問 東京電力ホールディングス株式会社の責任



動画でチェック

地域づくり



山崎智仁

Q 市民との協働によるRMO（地域運営組織）の推進を

A 本市ではコミュニティ協議会を地域課題解決の拠点とし、適宜行政が支援する

質問 少子高齢化で地域の担い手が不足する中、地域住民による地域の課題解決のために住民と協働でRMO（地域運営組織）を推進する考えはあるか。

回答 コミュニティ協議会がRMOの役割を担っており、コミュニティ施策を確実に進め、地域活動を支援していく。地域で解決できない問題は行政に相談いただきたい。

他の質問 土地利用構想における「主要生活拠点」の考え方



動画でチェック

地域公共交通



佐藤正典

Q これからの地域公共交通の在り方と再編などの考え方は

A 必要に応じて再編し、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成

質問 郊外地域では事前予約制（デマンド型）の運行形態が主体となっていくのか。

回答 「あいくる」と路線バス・一般タクシーとのすみ分けを図りつつ、各特性を生かしながら連携して生活交通を確保していく。地域内交通は利用状況や地域要望などを踏まえて必要な再編を行い、市全域に持続可能な地域公共交通ネットワークを形成する。

他の質問 ポストコロナを見据えた柏崎の観光 ほか



動画でチェック

食料支援



池野里美

Q 「フードバンク
かしわざき」との連
携

A 今まで以上にフードバン
ク・社協と意見交換し、支
援していきたい

質問 貧困家庭やひとり親世帯への食料支援は、任意ボランティア団体のフードバンクに頼っている。運営支援や補助など、市としてフードバンクと連携する考えはあるか。

回答 希望者への食品受け渡しなどで、市は社会福祉協議会と共にフードバンクと連携している。今まで以上に意見交換して、活動継続に向けた支援の在り方を協議したい。

他の質問 全ての子どもや若者が幸せに暮らせる社会へ向けて



動画でチェック

渇水被害対策



布施 学

Q 農地の渇水被害
対策

A 県の補助に合わせて市とし
て必ず対応する

質問 今夏、県内は雨がほとんど降らず、稲が枯れ上がるなど農作物に甚大な被害が出た。関係機関との連携による用水管理の調整など、市の対応について見解を伺う。

回答 用水の調整には介入できないが、渇水時の迅速な連携体制を構築したい。今夏の被害に対しては、県に合わせて市の補助も必ず行い、地域のニーズに対応していく。

他の質問 コスメとしての米山プリンセス
ほか



動画でチェック

平和行政



持田繁義

Q 戦争の悲惨さ、
平和の尊さをつなぐ
「語り部」の重要性

A 戦争の記憶を風化させるこ
となく継承する「語り部」
の活動は大切な取り組み

質問 戦争の凄絶さを語り継ぐことは歴史をつなぐこと。風化させることなく平和へつなげる語り部の重要性を認識し、具体化への手立ても必要と考える。

回答 語り部の活動は大切と考える。満州柏崎村関係者の体験を広く知らせたいと考える。10月29日の「平和を考える会」では、高校生平和大使から話してもらう。

他の質問 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策
ほか



動画でチェック

太陽光発電



星野正仁

Q 太陽光発電設備
の設置・解体撤去の
規制と条例の必要性

A 条例制定を含め、本市に
合った規制の在り方を検討
していく

質問 全国の自治体では太陽光発電設備の設置および解体撤去に関わるさまざまなトラブルが増加している。本市でも対策として規制や条例が必要と考える。

回答 地域特性を考慮した上で、環境保全と適正管理、市民の不安払拭が重要と考える。県との協議や多岐にわたるさまざまな点を考慮して、規制の在り方を検討していく。

他の質問 ChatGPTの活用、
旅費に関する運用と働き方改革



動画でチェック

政務活動を行いました



社会クラブ・柏崎のみらい連合

■ 7月20日(木)～21日(金)



活動内容

- 宇都宮市視察（観光ブランド戦略、地域資源と道の駅を活用した観光戦略）

会派の政務活動費



住めば愉快だ宇都宮～宇都宮市のブランド戦略

新公共交通システムLRTの開業を1カ月後に控え、宇都宮市全体が盛り上がりを見せる中、「住めば愉快だ宇都宮」をキャッチコピーに、宇都宮のブランド戦略（シティセールス）が積極的に推進されていた。「餃子のまち宇都宮」にとどまらず新たなブランド創出にまちは注力し、市はその旗振り役を強力に行っている。例えば、大谷石採掘場跡地をはじめとする市内に点在している観光資源や、一定の集客が期待できる道の駅ろまんちっく村などを広域的に結び付け、市はそうした宇都宮ブランドを積極的にPRしながら、交通の利便性向上など下支えを行っている。

こうした全市的なシティセールスの取り組みにより宇都宮ブランドがさらに認知され、移住・定住に成果を出し始めている。自治体が取り組むブランド戦略の一つの成功事例として学ぶべき内容であり、大いに参考となった。

柏崎市議会では、政務活動費は会派に対して交付されます。

令和5（2023）年度の政務活動費を使った活動の一部を報告します。他の会派の活動は次号以降に掲載予定です。

出張や研修などの政務活動費を使った活動は、市議会ホームページに随時掲載しています。

政務活動費



ギカイのうごき

CHECK!

1

柏崎刈羽原子力発電所に関する 調査特別委員会を設置

原発調査
特別委員会



9月5日の本会議に提出した委員会発案が可決され、柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会が設置されました。柄沢均議長と重野正毅副議長を除く20人の議員が所属し、委員長に真貝維義議員、副委員長に持田繁義議員が選任されました。

この特別委員会に2つの部会を置き、次の項目について調査・研究します。

- ①柏崎刈羽原子力発電所の安全対策
- ②原子力防災、実効性ある避難計画
- ③原子力発電所と地域経済、財政
- ④使用済核燃料に関わる諸課題
- ⑤その他柏崎刈羽原子力発電所に付随する諸課題

10月4日（水）には研修会を開催し、GX基本方針を踏まえた今後の原子力政策について学びました。



資源エネルギー庁 前田原子力立地政策室長の講義を受ける委員
(10月4日 委員会室)

CHECK!

2

常任委員会で取り組む調査研究テーマが決定

調査研究



柄沢均議長からの諮問を受けて、総務常任委員会（佐藤正典委員長）・文教厚生常任委員会（春川敏浩委員長）・産業建設常任委員会（阿部基委員長）は、委員の任期である2年間で調査・研究に取り組むテーマを決めました。

柏崎市議会では、前任期の令和3（2021）年12月から令和4（2022）年12月にかけて、初めてテーマに沿った調査・研究を行いました。今回で2回目の取り組みになります。

今回もロードマップを作成し、調査・研究

を進めていきます。政策提言をまとめ、令和6（2024）年12月定例会議で報告する予定です。

総務常任委員会

↳ 持続可能な地域公共交通

文教厚生常任委員会

↳ 子どもを取り巻く環境の充実

産業建設常任委員会

↳ 産業支援の在り方

CHECK!
3

新人議員を中心に研修を実施

柏崎市議会では、改選後に新人議員などを対象とした議員研修会を開催しています。今年5月にも現地視察を含めて2日間の研修を行い、各部局の業務について説明を受けました。

その後も、主に新人議員を対象に、次の研修会を企画、開催しました。

- 7月18日(火) 新人議員研修会
議員倫理条例、一般質問等発言について、その他（講師：真貝議員）
- 9月5日(火) 議長主催による議員研修会
法令・条例の読み方（講師：第一法規）、デジタル予算書操作（講師：財政管理課）

- 9月7日(木) 議長主催による議員研修会
財政の基礎的な制度、用語など（講師：議会事務局長）



研修会の冒頭であいさつする柄沢議長
(9月5日 委員会室)

CHECK!
4

市民との意見交換会に備えてスキルアップ

～ファシリテーション研修を行いました～

10月6日(金)に外部講師を招き、議員研修会を開催しました。11月の市議会意見交換会を念頭に企画したもので、3時間にわたってファシリテーションの技術を学びました。話し手役と聞き手役を交互に繰り返す演習中心の研修で、議員のファシリテーションスキル向上を目指しました。

市民の声をしっかり受け止め、議会活動を通して市政に反映させていきます。

議会運営
委員会



5つの班でロールプレイングを行いました。
(委員会室)

12月

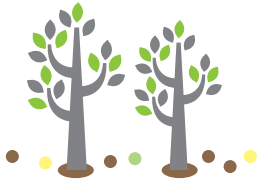
定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
12/3	4	5 本会議 議案説明・質疑・付託	6 委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	7 委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	8 本会議 一般質問	9
10	11 本会議 一般質問	12 本会議 (一般質問・予備日)	13 委員会・分科会 産業建設	14 委員会・分科会 文教厚生	15 委員会・分科会 総務	16
17 (委員会・予備日)	18	19 委員会 予算決算	20 本会議 委員長報告・採決	21	22	23

本会議・委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。インターネット中継でもご覧いただけます。
録画映像と会議録も公開しています。



議会日程



会議録・
中継・傍聴



■ウェブサイト・無料アプリで「ギカイのとびら」を読むことができます

パソコン・スマートフォン・タブレットで、手軽に閲覧できます。

ウェブサイト・
無料アプリ



■点字訳・音声訳の「ギカイのとびら」を配布しています

お申し込みは福祉課へ。

TEL 0257-21-2299

FAX 0257-21-1315

点訳・音訳



編集後記

「綾子舞」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから、1年がたちました。この間、さまざまなイベントで上演する機会があり、伝承の技や優雅な舞をととても身近に感じることができます。

また、市内には各地域に伝わる伝統文化・芸能が数多くみられ、

柏崎の魅力の一つとなっています。伝統を守り、継承することはとても大変な苦勞を伴います。柏崎の宝をぜひ皆さまの応援で支えていきましょう。

議会広報広聴常任委員

三嶋 崇史

次回発行は2月5日
お楽しみに

柏崎市議会

検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 星野幸彦

副委員長 三宮直人

委員

山崎智仁 三嶋崇史 近藤由香里

西川弘美 五位野和夫 相澤宗一

阿部 基 春川敏浩